ささやき　10月号　NO.137

『AIとの正しい共存とは』



園庭の芝生が、いつも以上に鮮やかに見える季節になりました。運動会の練習が始まり、園庭には子どもたちの元気な声が響いています。　先日年長のパラバルーンを見ていると、まるで緑の芝生の上に色とりどりの大きな花が咲いたように見えました。みんなの息がぴったり合ってバルーンがふわっと大きく膨らむ瞬間は、何度見ても美しいものです。　年中ダンスの旗も、子どもたちの動きに合わせて大きく揺れています。そこに秋の風が加わるとカラフルな旗が一斉になびき、まるで園庭全体が動き出したようです。　運動会というと、「上手にできているか」「きれいに揃っているか」といったことに目が向きがちですが、私は子どもたちが作り出すその瞬間の景色そのものが、とても素敵だなと思っています。

そんな「美しいもの」に出会うと心が躍りますよね。先月“夏休み返上で仕事をしていた!”などと話していた私ですが、少し遅い夏休みを沖縄で過ごしてまいりました。夫が19日(土)と、23日(祝)は仕事だったため、日曜の夕方の便で那覇に飛んで、火曜の早朝の飛行機で帰福しました。滞在時間はほぼ1日しかなかったのですが、それでも青い空と海に心を洗ってもらったような、爽やかな気分になりました。自然が多いところにいると、時がゆっくりと流れているような感覚になります。夫と娘は沖縄が初めてだったので、二人の希望で『美ら海水族館』に行きました。『黒潮の海』と名付けられた大水槽の前では思わず足が止まります。目の前を大きなジンベイザメやマンタが悠々と泳ぎ、たくさんの魚が群れを つくって動いています。水の中に光が揺れ、水槽いっぱいに広がる景色は、何度見ても圧倒されるほどの迫力でした。そのとき、そばにいた子どもが水槽を見ながら「わー!!AIみたい!」と言いました。　思わず「えっ!?」と心の中でつぶやいてしまいました。目の前にいるのは、AIが作った魚ではなく、本物の魚です。魚が泳ぐ姿、水の動き、光の揺らめき、そして目の前に立ったときに感じる大きさや迫力。　画面の中でどれほど精巧な映像を見ることができても、実際にその場所に立っ　て感じるものとは、やはり違います。今は、AIによって本物そっくりの映像を簡単に作ることができます。美しい景色も、遠い場所の風景も、画面を通して見ることができます。だからこそ、これからの時代は「本物にふれること」が、ますます大切になるのかもしれないと思いました。冷たい水に触れる。葉っぱの匂いを嗅 ぐ。虫の羽音を聞く。風を感じる。大きなものを見上げて、その大きさに驚く。友達と顔を見合わせて笑う。そうした体験は、画面の中だけでは味わうことができません。

幼稚園で大切にしていることも、まさにこうした「体験」です。運動会で、風になびく旗を見る。友達の声を聞く。芝生の上を走る。みんなで力を合わせてパラバルーンで表現する。そして、「できた!」という喜びを身体いっぱいに感じる。写真や動画に残すことも大切ですが、その場にいるからこそ感じられるものがあります。子どもたちには、これからもたくさんの「本物」に出会ってほしいと思います。そしてその一つひとつの体験が、子どもたちの心の中に残っていくのだと思います。今月は、姪浜中学校の2年生が家庭科の授業で(280名程)“ふれあい体験”に来ています。当園の卒園児が何人も来ていますが、園で経験したことを色々と覚えていることに驚かされます。心が動いた体験は、案外忘れられないものなのかもしれませんね。

ぽかぽか日和

さて、そんな「体験」を大切にしている園で、最近ちょっとしたブームが起きています。それは「早口言葉マスター」です。「おっとっと、とっとてって……」「キットカット、かっとかんと……」。不思議なことにこれは何年も前から博多弁コーナーに貼っているのですが子ども達のブームになる年と、全く興味を示さない年があります。今年は熱中する子が多く、あっという間に2つの早口言葉は覚えてしまい、新しいもののリクエストがありました。週末自宅で必死に10個の新作を考えました。ちょっとAIにも手伝ってもらいながら(笑)　早速、園のあちらこちらから何やら呪文のような声が聞こえてきます。しかも、ただ早口で言うだけではありません。子どもたちは自分たちでリズムをつけ、身体を揺らしたり手拍子をしたりしながら、楽しそうに繰り返しています。最初は舌がもつれていた言葉も、何度も挑戦するうちに少しずつスラスラ言えるようになります。そしてできるようになると、『いきまーす!』と嬉しそうに披露してくれます。言葉を覚える。リズムを楽しむ。何度も繰り返す。友達と一緒に笑う。そして「できた!」という小さな達成感を味わう。これも、子どもたちにとって大切な学びの一つです。　さぁ、次に「早口言葉マスター」の称号を手にするのは誰でしょう。園のあちらこちらから 聞こえてくる、かわいい「呪文」をしばらく楽しみたいと思います。

園長 ： 讃井 理香